**南ア治安情報（西ケープ州以外）**

**【2023年７月～９月】**

**在南アフリカ共和国日本大使館**

**南アでは、犯罪者が銃やナイフを持っていることがあるため**

**万が一被害に遭いそうになった場合**

**抵抗はせず、命を最優先に守る行動をお願いします**

**以下、頻度の高い犯罪類型とその対策、最近の事案・傾向です。**

**１　賄賂要求被害（警察官による検問）**

1. **９月17日（日）午後21時頃、邦人が車両を運転し、ヨハネスブルグ市内のSandton driveからGraystone driveに左折したところで、JMPD（ヨハネスブルク市警察）から検問を受け、「運転するには、TRNC（車両購入時に取得する証明書）が必要なのに、持っていないのか。」という言いがかりをつけられて、4,500ランドを要求された。在留邦人は、支払う義務はない旨を伝えたが、執拗に支払いを求められ、最終的に200ランドを支払った。**
2. **９月23日（土）午前10時頃、邦人が車両を運転していたところ、上記と同じ場所において、JMPDから検問を受け、同様に「TRNC」の提示を求められた。警察官に対して、所持義務はない旨を伝えるも、「所持はこの国の義務だ。」、「持っていないのなら、切符をきる。」、「罰金はいくらがいい？」などと金額を要求してきたため、在留邦人は支払う義務はない旨を言及し、汚職担当警察に電話を試みたが、「電話を置け！」と怒鳴り散らされ、脅された。困惑していたところ、なぜか汚職警察官は急に態度を変え、「この国のルールを確認しておけ。」と言った後、解放されることになった。**

**【対策】**

**→運転する際に必要なものは、以下のいずれかです。**

**(1)日本の公安委員会が発行した有効な運転免許証及び翻訳証明**

**(2)有効な国外／国際運転免許証及び当該国外／国際運転免許証取得の基となった有効な運転免許証**

**(3)日本以外の国で発行された有効な運転免許証及び南アフリカにある発行国の大使館発行翻訳証明**

**→TRNCの提示を求められた場合の対応例は下記のとおりです。**

1. **有効な運転免許証などを提示し、携行しているもので当地において運転は可**

**能であることを説明してください。**

**(2)会社名義の車を運転されている方は、会社から貸与されている車であること、会社のTraffic　Registration　Number、会社代表者氏名及び署名などが記載された文書を会社から発行してもらい、警察官に提示して説明してください。**

**(3)警察官から現場で現金を求められた場合は、当該警察官の対応は違法な取り扱いの可能性がありますので、その場合は、この処分について「正式な罰金／反則金請求書を出すことができるか」と問いただしてください。**

**(4)それでもまだ現金等を求められた場合は、Johannesburg Metropolitan Police Department(JMPD)汚職対策班に連絡し、対応を求めてください。**

**（連絡先）Inspector Patric Mabasa：082-551-5391**

**UNIT：083-334-6693**

**→警察官から現場で現金を求められた場合は、当該警察官の対応は違法な取り扱いの可能性がありますので、その場合は、この処分について「正式な罰金／反則金請求書を出すことができるか」と問いただしてください。**

**２　侵入窃盗**

**９月９日（土）午後４時頃、邦人が宿泊していたゲストハウスにおいて、不在中に不審者が侵入し、同人部屋からノートパソコン、鞄、Bluetoothスピーカー等を窃取した。同所には警備員が配置されておらず、同時間帯はゲストハウスのマネージャーも不在にしていたことから、侵入者は管理人の部屋からスペアキーを盗み、犯行に至った。その他ゲストも、被害にあった。**

**【【対策】**

**→ゲストハウスは、不特定多数の者が出入り可能であるため、自分の部屋であっても貴重品を放置しないようにしてください。**

**→住宅の場合は、在宅時でも侵入可能な窓やドアは施錠し、鉄格子（バーグラーバー）などの防犯設備を確実に活用してください。就寝時は、窓やドアが施錠されているか点検し、警報装置をセットしてください。**

**→窓を開放する際は、鉄格子の施された窓を利用してください。**

**→賊は犯行下見を入念に行う場合が多いため、平素から自宅周辺の様子に注意し、不審人物(車)に気がついた場合は警察や契約警備会社に通報してください。**

**→使用人など内部の手引きによる犯行もあるため、貴重品を自宅内に放置したり、行動や生活パターンを不用意に知られないよう留意してください。**

**→万一、侵入被害に遭い賊と遭遇する事態となった場合、抵抗や反撃はせず、身の安全が確保できる部屋に逃げ込んでドアなどを施錠し、警察、警備会社などに通報してください。**

**３　抗議行動**

**違法移民排斥を訴えたり、水不足に対する不満などの理由から、各地で大小様々な抗議行動が多発しました。**

**今後も、各地で各種抗議行動が発生する可能性がありますので、最新の情報を入手し注意してください。平穏に進行している抗議行動であっても、些細な事をきっかけに激化、他の暴力的事象に発展する可能性がありますので、抗議行動が行われている場所には近づかないなど注意してください。**